

# 令和4年南アルプス市議会第3回定例会（9月）

## 市長説明要旨（抜粋）

本定例会における議案の説明に先立ち、今年度実施中の主要事業について、ご説明申し上げます。

1点目は、「新産業拠点整備事業」についてであります。

本市の玄関口に相応しい、「人々が集い、地域と繋がる集客交流拠点」をコンセプトに掲げて、昨年10月から公募型プロポーザル方式による企業誘致を進めてまいりました。この度、県内の株式会社アルプスを代表とし、複数の地元企業で構成する特別目的会社「株式会社ヒカレヤマナシ」と「コストコホールセールジャパン株式会社」を、本事業の誘致企業として選定し、7月4日、長崎山梨県知事と飯野市議会議長の立会いの下、2者との協定を締結いたしました。

本事業は、これからが本当の意味でのスタートであり、今後は、本事業を核とした新たなまちづくりへの道筋をつけるべく、事業の早期実現に向けて、鋭意取り組んでまいります。

2点目は、『インターチェンジ周辺整備事業』についてであります。

周辺エリアにおいては、地権者との意見交換会や、第1回南アルプスIC周辺高度活用計画検討委員会を開催したところであります。

引き続き、早期の計画策定に取り組むとともに、賑わいと活力が創出される新産業拠点エリアとともに、「南アルプス市の玄関口」を一体的に整え、本市を「訪れたい、住みたい」と思っただけの魅力的な土地利用を目指してまいります。

3点目は、『新鏡中條橋の整備推進』についてであります。

これまで、広域連携防災対策強化の必要性と新たな交通ネットワークの構築に向けて、山梨県及び関係市町と勉強会を開催するなど、整備促進に向けて取り組んでまいりましたが、この6月に山梨県から新たな方向性が示されたところであります。

本市にとりましては、新産業拠点整備事業が具体的となり、周辺整備も合わせたまちづくりや企業誘致を進める中で、非常に効果的なインフラ整備であります。

加えて、防災や地域経済など、3市町の相乗効果の面においても、この新橋の活用を今後のまちづくりの重要事項として組み込み、進めてまいりたいと考えております。

4点目は、『一級河川横川の流域治水対策』についてであります。

この度、長崎知事により改修事業の実施を明言していただき、この改修を核とした、横川流域治水も県内の1級河川に先駆ける形で、鋭意進められております。

一方で、近年は気候変動の影響により、各地で洪水被害が激甚化・頻発化している状況を受け、本市としても、治水対策にこれまで以上に、積極的に取り組みを進めてまいり認識しております。

このことを踏まえ、本年7月に、一級河川横川の流域治水対策について、山梨県と南アルプス市が相互協力のもと、着実に推進するため、「確認書」を締結するとともに、長崎知事との共同記者会見に臨んだところであります。

5点目は、『新広河原山荘』についてであります。

本年6月にリニューアルオープンしました新広河原山荘は、天候不良と新型コロナウイルス感染症第七波の影響もあり、宿泊者数は計画値を下回っているものの、立ち寄り利用者の飲食や物販が好調であり、順調なスタートができたと考えております。

指定管理者である山梨交通株式会社では、東京、大阪、京都から南アルプス登山パックとして、高速バスと広河原山荘の宿泊をセットにしたツアーの募集を開始するなど、登山者の利用促進を図っております。

本市においても、秋の紅葉シーズンを見据え、静岡方面などを中心に案内チラシを配布し、一般観光客の利用促進や誘客に努めております。

6点目は、『観光プロモーション』についてであります。

現在、「バイ・ふじのくに」や、新たな広域経済圏の取り組みにより、東海、中京圏のほか、首都圏や長野県、新潟県方面に向けて、旬の南アルプス市産フルーツのプロモーションを積極的に実施しております。

9月には、ららぽーと沼津、KITTE名古屋、静岡伊勢丹において、シャインマスカット販売を通じた観光PRや、シャインマスカットを使用したマザー牧場とのコラボレーション商品「シャインマスカットソフトクリーム」の試作販売を、三井アウトレットパーク木更津店のアンテナショップで予定しております。

7点目は、『市民参加型シティプロモーション事業』についてであります。

令和3年度に策定しました「シティプロモーション戦略」に基づき、市内外に本市の魅力を発信するシティプロモーションを推進しております。

本事業は、市民団体等の皆さまが、自ら主催するプロモーション事業を募集し、市が提案団体に事業実施を委託して、本市の魅力を発信してまいります。

今後、採択事業の進捗状況等については、市ホームページやSNS等で発信してまいります。

最後に『南アルプス市LINE公式アカウントの運用開始』についてであります。

情報収集の方法は多様化しており、多様な媒体による情報発信が求められていることから、多くの市民が利用する「LINE」を通じて、市の取り組みやイベント等に

関する情報を発信してまいります。

利用者が受信したい情報を選択できる「セグメント配信機能」を導入し、健康や子育て、防災、イベント等、市民が必要とする情報を、9月1日から配信してまいります。

続きまして、今後予定しております、各種イベント等についてご報告申し上げます。はじめに、「総合防災訓練」は、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響を踏まえ、訓練の規模を縮小して実施することといたしました。

次に、「南アルプス山麓サマーフェスティバル」については、誠に残念ではありませんが、中止を判断させていただきました。今回で3年連続の中止となってしまいました。秋頃には代替イベントを開催する方向で調整をしております。

次に、「市立美術館開館30周年記念事業」についてであります。

市立美術館では、開館30周年を記念して、10月1日より愛と平和への祈り「マルク・シャガール」展を開催いたします。

20世紀最大の画家の一人として名高いシャガールは、「愛と平和への祈り」を一貫したテーマに捉え、奇抜な創造力で詩情あふれる美しい作品を遺しております。

今回の展示会では、約280点の作品をご観覧いただける予定となっておりますので、より多くの皆さまのご来館をお願い申し上げます。

次に、南アルプス元気券については、長引く原油価格や物価の高騰などにより、経済的負担が増している市民生活の支援を目的として、今年度におきましても市民1人あたり1万円の「南アルプス元気券」を配布させていただきます。

9月上旬から10月末日までに各世帯に元気券を郵送させていただく予定であり、利用期間を11月1日から翌年1月末日までとしております。

さて、来年4月に迎える『南アルプス市長選挙』についてであります。

市制が施行して19年、南アルプス市は、多くの皆さまのご尽力により築き上げられてまいりました。

私自身も市長として、この7年余の間、全身全霊で市政運営に取り組んできたところでもあります。

南アルプス市はこれまで、市長が1期ごとに入れ替わっておりましたが、前回の市長選挙において、初めて市民の皆さまより継続を負託されましたので、この任期4年間は、「継続は力なり」を実践し、その成果は着実に現れていると実感しているところでもあります。

私の公約であります「南アルプスIC南側の新産業拠点予定地への企業誘致実現」については、この度、株式会社ヒカレヤマナシ、及びコストコホールセールジャパン株式会社の参入が決定したことにより、一定の目途が付いたところでもあります。

しかしながら、正式な契約を含め、令和6年度の開業に向けては、今後、解決していかなければならない課題が数多くございます。

このエリアが、南アルプス市を、今後、更に発展させていくための新たな地域振興の拠点として確立するその時まで、引き続き、市政の舵を取ることが、私の最大の使命、責任であると強く考えております。

これまでも、「持続可能な活力あるまち」、「住みたいまち、行ってみたいまち」の実現に向け、新産業拠点整備のほか、福祉、教育、環境問題など、市民生活を最優先に、課題の解決に向けて、鋭意努力してまいりました。

これからも、市民の皆さまには、この8年間の成果を最大限に活かしたまちづくりをお約束するとともに、「南アルプス市に誇りを持ち、安心して笑顔で暮らせる市政」の実現を確立するため、引き続き、7万人余の市民の皆さまと手に手を取り合い、共に目指してまいりたいと考え、来る、来年4月の南アルプス市長選挙に、再びチャレンジしたいと強く決意するものであります。

